

# 令和4年度第2回 横浜市自転車等施策 検討協議会



令和5年3月16日



- 議題 1 オンラインでの傍聴（案）について
- 議題 2 各施策の実施状況について
- 議題 3 指標の見直し及び達成状況について
- 議題 4 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験  
事業評価部会の開催状況について

## 1

# オンラインでの傍聴(案) について

## 1 趣旨

会場にお越しただけでなく、オンライン上で当協議会の傍聴をすることができるようにします

## 2 配信方法

オンラインサービス（YouTube）を用いた  
会議開催中の傍聴

※可決された場合、議題2からオンラインでの  
配信を実施します

## 3 周知内容

横浜市ウェブサイト上でURLを公表しています





# 横浜市自転車活用推進計画

【2019年度～2028年度】



## 2

# 各施策の実施状況 について

## ■方針

## ■具体の取組

### 方針 1

**交通ルールを  
学べる環境を  
つくる**

(1) 切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

(2) 教育・啓発・指導ができる体制づくり

### 方針 2

**安全・安心に  
自転車を利用  
できる環境を  
つくる**

(1) 自転車とクルマが互いに配慮できる意識啓発

(2) 自転車保険の加入促進

(3) 安全に乗るための点検・整備方法の周知啓発

# 切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

市の取組

## ① 世代に応じた交通安全教育

### 交通安全教室の実施

#### 令和5年度より子ども通学路交通安全事業が始まります

横浜市中期計画や横浜市交通安全対策会議において、「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」を新たな目標として設定しました。令和5年度より、交通事故データやビッグデータを活用し、ハード・ソフト両面で子どもの交通安全対策に強化して取り組みます。ソフト面においては、交通安全教室の新規・拡充などを図ります。

### 子ども通学路交通安全事業のソフト対策の取組

新規

- こども・交通事故データマップの公開
- 放課後キッズクラブ交通安全教室の実施

拡充

- 幼児交通安全訪問指導の実施拡大
- 幼児保護者向け交通安全教室の実施拡大

強化

- はたふり誘導講習会等でデータを活用し、見守り(はたふり)活動の強化

幼児

#### 幼児交通安全訪問指導

- ・市内幼稚園・保育所等で幼児を対象にパペット指導や就学前指導を実施  
(R4年度実績(R5.1月末):236園、:R5年度予定/300園)
- ・自転車利用時のヘルメット着用等について周知



#### 幼児保護者向け交通安全教室

- ・市内幼稚園・保育所等で幼児保護者を対象に交通安全講話を実施  
(R4年度実績(R5.1月末):8回、:R5年度予定/20回)
- ・幼児同乗自転車の注意点等について周知



## 切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

小学生

### ■ はまっ子交通あんぜん教室

- ・市内小学校で**小学3～6年生を対象**に、警察署や交通安全協会、区役所が連携し自転車の交通安全教育などを実施
- ・R4年度実績(R5.1月末):**257回**、参加者**60,077名**、R5年度予定/**250回**



### ■ 放課後児童交通安全教室【新規】

- ・市内放課後キッズクラブ等で**小学生を対象**に交通安全教室を実施
- ・R5年度予定:**4回**
- ・自転車の交通安全教育などを実施



中学生

### ■ 中学生・高校生向け自転車交通安全教室

- ・市内中学校・高校等で**中学生・高校生を対象**に、自転車の交通ルール・マナーを学ぶ交通安全教育を座学講義形式で実施。
- ・R4年度実績(R5.1月末):**20回**、参加者**4,512名**、R5年度予定/**20回**

#### 【指導内容】

自転車の通行場所/年齢によって適用される自転車ルール  
自転車損害賠償保険等の加入義務と加入の必要性/**電動キックボードの安全利用**…など

改正道路交通法(令和5年7月から)の施行に伴い、新たに指導内容を追加

### ■ スケアード・ストレイト方式自転車交通安全教室

- ・市内で**中学生や高校生などを対象**にスタントマンによる自転車事故再現等を実施  
(R4年度実績(R5.1月末):**11回**、R5年度予定:**10回**)

引き続き、学校の先生とやりとりを重ねながら実施しやすい方法を考え、より効果的な交通安全教育につなげていきます

市の取組

② 自転車交通安全啓発  
ツールの作成・活用

③ 様々な機会を活用した  
交通安全啓発

自転車乗車用ヘルメットの着用努力義務化（4月1日～）に向けた啓発

ウェブページ



啓発チラシ



ロゴ



Twitter



【今後の予定】 ※いずれも調整中

- ・ ハマナビお知らせコーナーでの情報発信（3月中～下旬）
- ・ インターネット広告の掲出（5月）
- ・ 広報よこはま5月号への記事掲載（5月）

5月の自転車月間（自転車マナーアップ強化月間）に向けた啓発活動



# 切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

## 市の取組

### ③ 様々な機会を活用した交通安全啓発

#### インターネット広告の掲出

new

- Yahoo!広告、Google広告へのバナー広告の掲出  
(令和4年度は、自転車保険加入促進の広告を掲出 合計20,000クリック)  
(令和5年度は、自転車ヘルメット着用促進の広告を掲出予定)

#### SNSを活用した啓発

- 各季交通安全運動に合わせて啓発動画をTwitterで配信
- その他、自転車の安全利用に関する内容などの情報発信  
(自転車関連ツイート発信数：74件/令和5年1月末現在)



幼児向け交通安全教育動画



子乗せ自転車啓発動画



Twitterを活用した発信

## 自転車とクルマが互いに配慮できる意識啓発

市の取組

### 「思いやり SHARE THE ROAD 運動」の推進

#### 【今後の予定】

- イベントによる啓発

令和5年5月13日（土）・14日（日）開催

2023 World Triathlon Championship Series Yokohama  
（ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ  
横浜大会2023）

#### <内容（予定）>

- ・ 5月13日（土）実施のパレードへの参加
- ・ 同日開催「サイクルスタイルヨコハマ」ブース出展  
→パレードやブースにて、思いやりSHARE THE ROAD運動のPRや  
自転車安全利用の啓発を行います。



▲ 令和2年度の様子



## 自転車保険の加入促進

### 市の取組 保険加入状況調査の実施

#### 令和4年度の加入状況調査結果及び過去の調査結果との比較

##### 概要

- ・令和4年度調査  
令和4年10月14日～11月16日まで、6歳以上の市民5,000人を対象に実施  
郵送またはインターネットにより回答 ⇒回答者数は1,157人（23.1%）
- ・令和3年度調査  
令和3年10月19日～11月18日まで、6歳以上の市民5,000人を対象に実施  
郵送により回答 ⇒回答者数は1,499人（30.0%）

	R1	R2	R3	R4	目標値
自転車保険加入率	44.6%	69.2%	68.4%	77.7%	85%

- ・令和4年度調査は**自己所有の自転車利用者**に対して保険加入有無を問うことで、より正確な加入率を把握。自転車保険の加入率は**約77.7%**と増加。
  - ・令和元年10月から自転車保険の加入が義務化されたことを、知っていると回答した人は**約55%**に減少、自転車保険の認知度は**90%弱**。
- 引き続き、加入の必要性を訴え、加入率向上に向けた施策を推進していく。

## 自転車保険の加入促進

### ■ 自転車保険の年代別加入率

	R1	R2	R3	R4
18歳未満	54.1%	71.4%	65.7%	76.6%
18歳～20歳代	39.3%	<b>61.8%</b>	<b>59.1%</b>	<b>57.1%</b>
30歳代		72.9%	68.7%	83.7%
40歳代	46.9%	67.1%	72.8%	<b>84.4%</b>
50歳代		<b>73.3%</b>	<b>74.7%</b>	82.5%
60歳代	40.3%	69.5%	64.8%	75.0%
70歳代以上	32.7%	65.0%	66.7%	68.3%
全年代	44.6%	69.2%	68.4%	<b>77.7%</b>

昨年度に引き続き、18歳～20歳代の加入率が最も低かった

40歳代の加入率が、最も高かった

- 20歳代以下の若年層と、60歳代以上の高齢層において、全体の加入率を下回った
  - 反対に30～50歳代においては、全体の加入率を上回った
  - 18歳～20歳代以外の全ての年代において、昨年度よりも加入率が上昇した
- 引き続き、各世代に応じた効果的な媒体を用いた広報を行い、加入率の向上を図る

## 自転車保険の加入促進

### 自転車保険の加入理由・未加入理由（複数回答可）

昨年度に引き続き  
加入理由のトップ

#### ■ 加入した理由

自転車事故による高額賠償などの  
リスクを避けたいから **53.8%**

条例で義務化されたから 39.9%

既に参加している保険に  
付帯していたから 37.3%

その他として、

- ・ 自転車購入時に店舗にて勧められたため
  - ・ 保険加入が自転車通学や自転車通勤の条件だったので
- などの意見あり

#### ■ 加入しない理由

自転車を利用する頻度が低いから **65.4%**

事故を起こすと思わないから 28.8%

手続きが面倒だから 17.3%

その他として、

- ・ 高齢になり、近いうちに自転車の運転を卒業するつもりのため
- などの意見あり

## 市の取組 各世代に対する広報の実施

公共交通機関等でのポスター掲示  
・各線横浜駅広告（2月6日～19日）

インターネット広告（バナー広告）の掲出  
・Yahoo!広告、Google広告（1月16日～2月15日）

相鉄線横浜駅  
駅貼り広告の様子 ▶



市営地下鉄横浜駅  
駅貼り広告の様子 ▼



◀ インターネット広告 掲出の様子  
（スクリーンショット）  
※画像は加工しています

## 自転車保険の加入促進

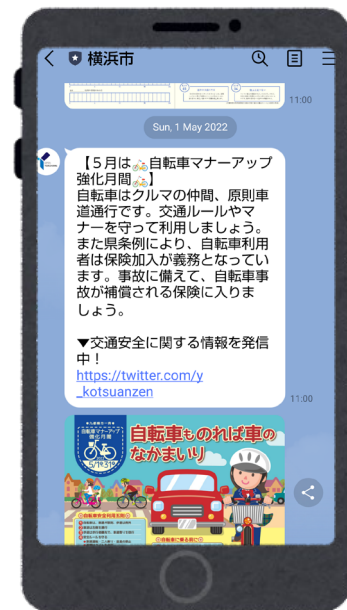
### 調査結果を踏まえた令和5年度の啓発方針

#### ■ 加入動機につながる項目を強調

- ・ 高額賠償のリスク
- ・ 県条例で加入義務となっていること
- ・ 安価な保険料のものもあることや、手続きの手軽さ

#### ■ 世代別に応じた効果的な媒体を活用

- ・ 10～30歳代：SNS（Twitter、YouTube、LINE等）
- ・ 40歳代以上：新聞、地域情報誌、雑誌など
- ・ 60歳代以上：広報よこはま など
- ・ 全世代：テレビ、インターネットニュースなど



横浜市LINE公式アカウント

令和5年度も  
加入状況調査を実施予定

次年度の啓発に反映

## 自転車保険の加入促進

### 市の取組 各世代に対する広報の実施と、保険加入状況調査の実施（R4）

#### ① 広報紙を通じた啓発

- ・ 広報よこはま記事掲載（5月号）

主に  
高齢世代  
向け

#### ② テレビ・ラジオ番組、SNSなどを通じた啓発

- ・ テレビ広報（5月・政策局広報課広報枠）  
テレビ神奈川「ハマナビ」お知らせコーナー  
テレビ神奈川 データ放送
- ・ ラジオ広報（5月・政策局広報課広報枠）  
FMヨコハマ【YOKOHAMA My Choice!】
- ・ ラジオ広報（5月・民間との連携）  
FMヨコハマ【Sunday Good Vibes!!】内  
トヨタモビリティ神奈川presents  
KANAGAWA SUNDAY TRIP
- ・ Twitter（随時発信、7回／1月末時点）
- ・ 横浜市LINE公式アカウント（5月）

全世代  
向け

全世代  
向け

主に  
若年世代  
向け

#### ④ キャンペーン等での啓発

- ・ 各交通安全運動、強化月間に合わせた啓発活動

全世代  
向け

#### ⑤ 日々の交通安全教室を通じた啓発

- ・ 幼児向け教室、児童向け教室、中高生向け教室、幼児保護者向け教室など

子ども・  
保護者向け

#### ⑥ 自転車保険への加入状況調査

- ・ 次年度の啓発に向けたアンケート実施

#### ★その他

- ・ 転入者向け区役所窓口配布（13区で実施）
- ・ 自転車保険連携事業者と協力した取組（日本郵便株式会社との連携開始）
- ・ インターネット広告（1月～2月）
- ・ 駅貼りポスター広告（2月）

## ■方針

## ■具体の取組

方針  
1

地域の自転車  
ネットワークを  
つくる

(1) 重点エリアでの自転車通行空間の整備推進

(2) 都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進

方針  
2

地域をつなぐ  
広域ネットワーク  
をつくる

広域的な自転車ネットワークの形成

方針  
3

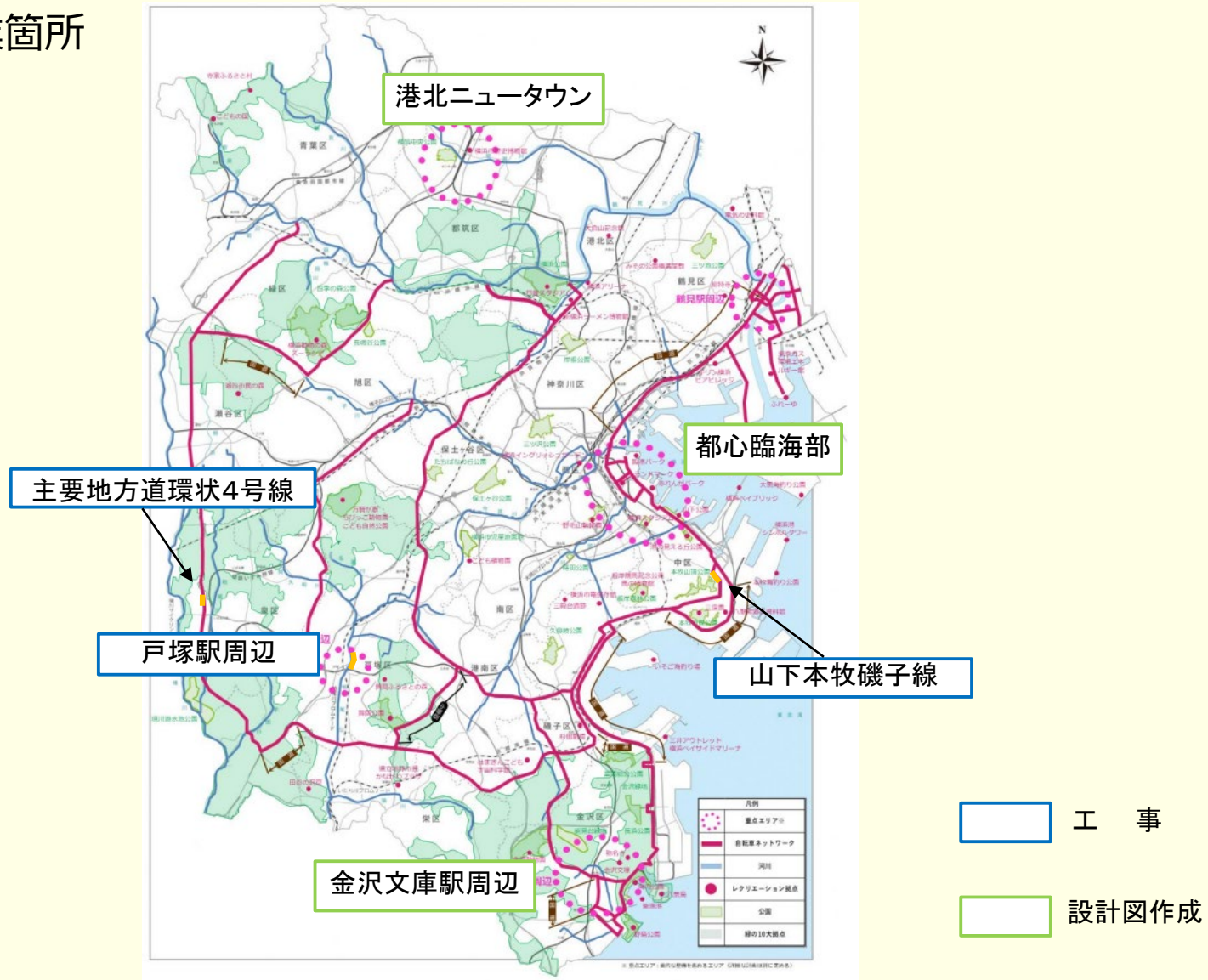
安全で快適な  
自転車通行環境を  
つくる

自転車通行環境の快適性向上



# 自転車通行空間の整備状況

## 令和4年度の事業箇所





- 令和4年度は下記工事を実施

## 工事

路線名	整備箇所	整備形態	延べ延長
市道矢部第521号線	戸塚駅周辺 (重点エリア)	矢羽根型路面表示	約 1,400m
主要地方道環状4号線	泉区(上飯田地区)	自転車専用通行帯	約 460 m
山下本牧磯子線	中区(本牧地区)	矢羽根型路面表示	約 1,400m
		計	約 3,260m

- 令和4年度は下記の設計図作成を実施

### 設計図作成

地区名	路線名	工種	延べ延長
金沢文庫駅周辺地区	—	測量・設計	約 25.1km
都心臨海部	—	測量・設計	約 34.2km
港北ニュータウン	市道中山北山田線	測量・設計	約 7.8km
		計	約 67.1km

# 重点エリアでの自転車通行空間の整備推進

## ■ 戸塚駅周辺 自転車通行空間整備

令和4年度には、D路線を整備。



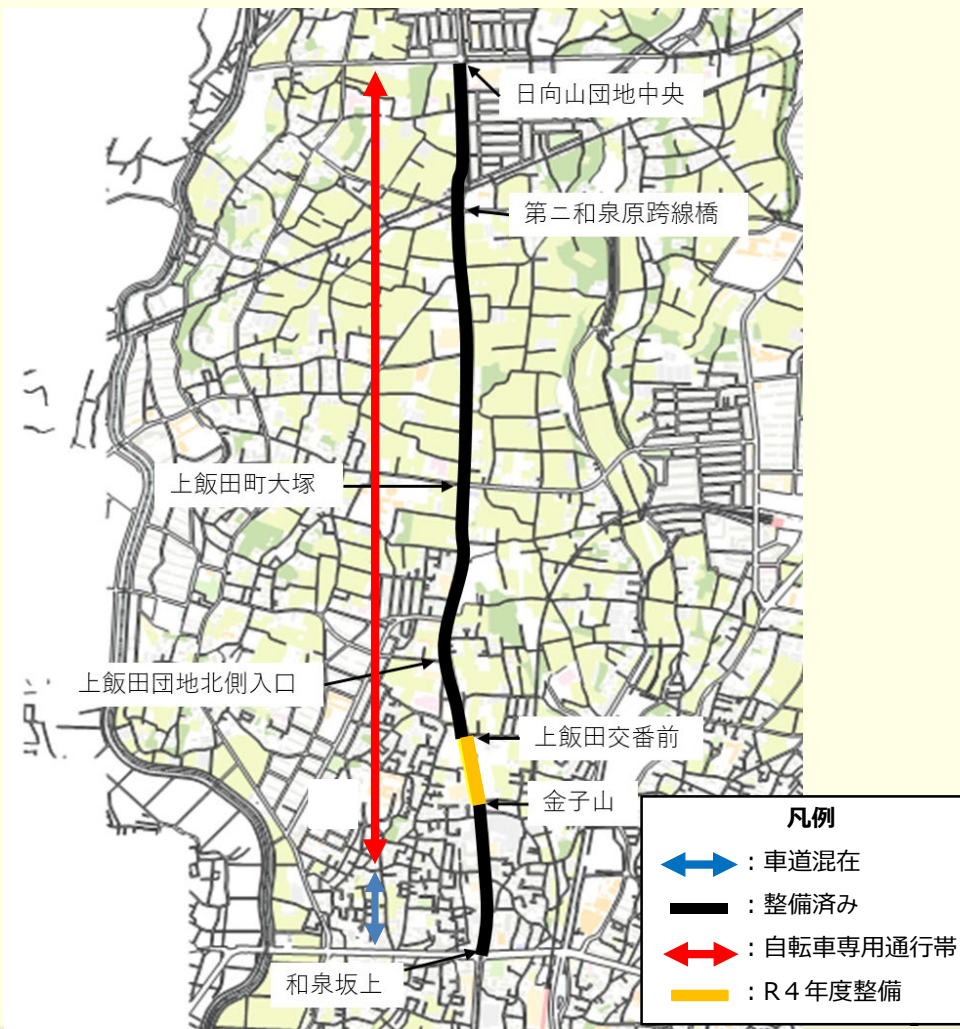
R4整備箇所 (D路線)



# 自転車ネットワークでの自転車通行空間の整備推進

## ■(主)環状4号線(泉区上飯田地区) 自転車通行空間整備

令和4年度は、「上飯田交番前」から「金子山」交差点間を整備。



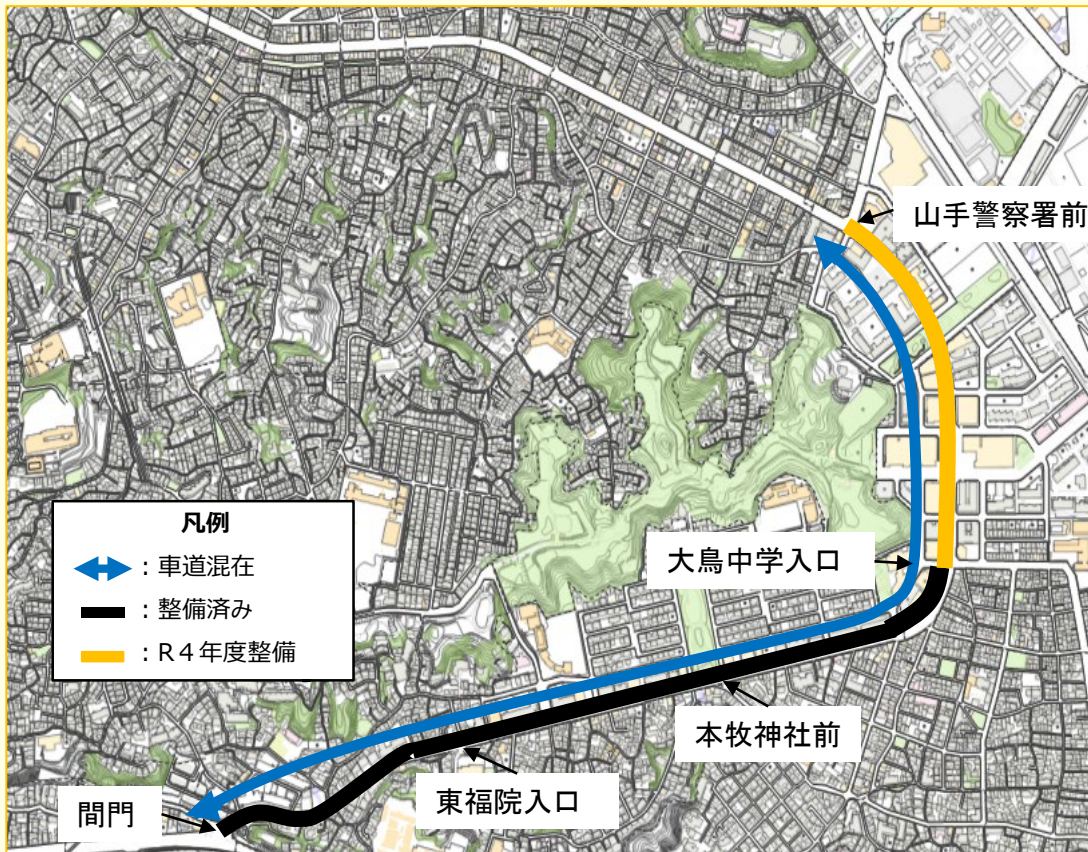
R4整備箇所



# 自転車ネットワークでの自転車通行空間の整備推進

## ■ 山下本牧磯子線 自転車通行空間整備

令和4年度は、「大鳥中学入口」から「山手警察署前」  
交差点間を整備。



R4整備箇所



# 自転車通行空間の整備状況

## 令和5年度の事業予定箇所



■ 令和5年度は下記の工事を実施予定  
工事

地区・路線名	整備形態	延べ延長
市道中田さちが丘線	自転車通行帯 矢羽根型路面表示	約 1,000m
山下本牧磯子線	矢羽根型路面表示	約 500m
戸塚駅周辺 (重点エリア)	矢羽根型路面表示	約 1,200m
港北ニュータウン (重点エリア)	矢羽根型路面表示	約 7,800m
都心臨海部 (重点エリア)	矢羽根型路面表示	約 2,000m
金沢文庫駅周辺 (重点エリア)	矢羽根型路面表示	約 2,000m
その他	矢羽根型路面表示	約700m
	計	11,300m

- 令和5年度は下記の設計図作成を実施予定

### 設計図作成

地区名	路線名	工種	延べ延長
瀬谷区	環状4号線	測量・設計	約 6.6km
		計	約 6.6km



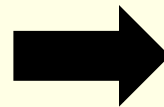
## 自転車通行空間の確保

### ■ タイヤがはまりにくい雨水枡蓋への変更

戸塚駅周辺（重点エリア）のD路線にて舗装補修工事に合わせてタイヤのはまりにくい雨水枡蓋へ改修。



整備前



整備後

## ■方針

## ■具体の取組

方針  
1

目的に応じた  
駐輪場の「量」  
を確保する

(1) 買い物等の集客施設での利用に応じた駐輪場の確保

(2) 鉄道利用等に対応した駐輪場の拡充

方針  
2

サービスの  
「質」を高める

(1) 市営自転車駐車場のサービス向上

(2) 持続可能な市営駐輪事業のしくみ構築

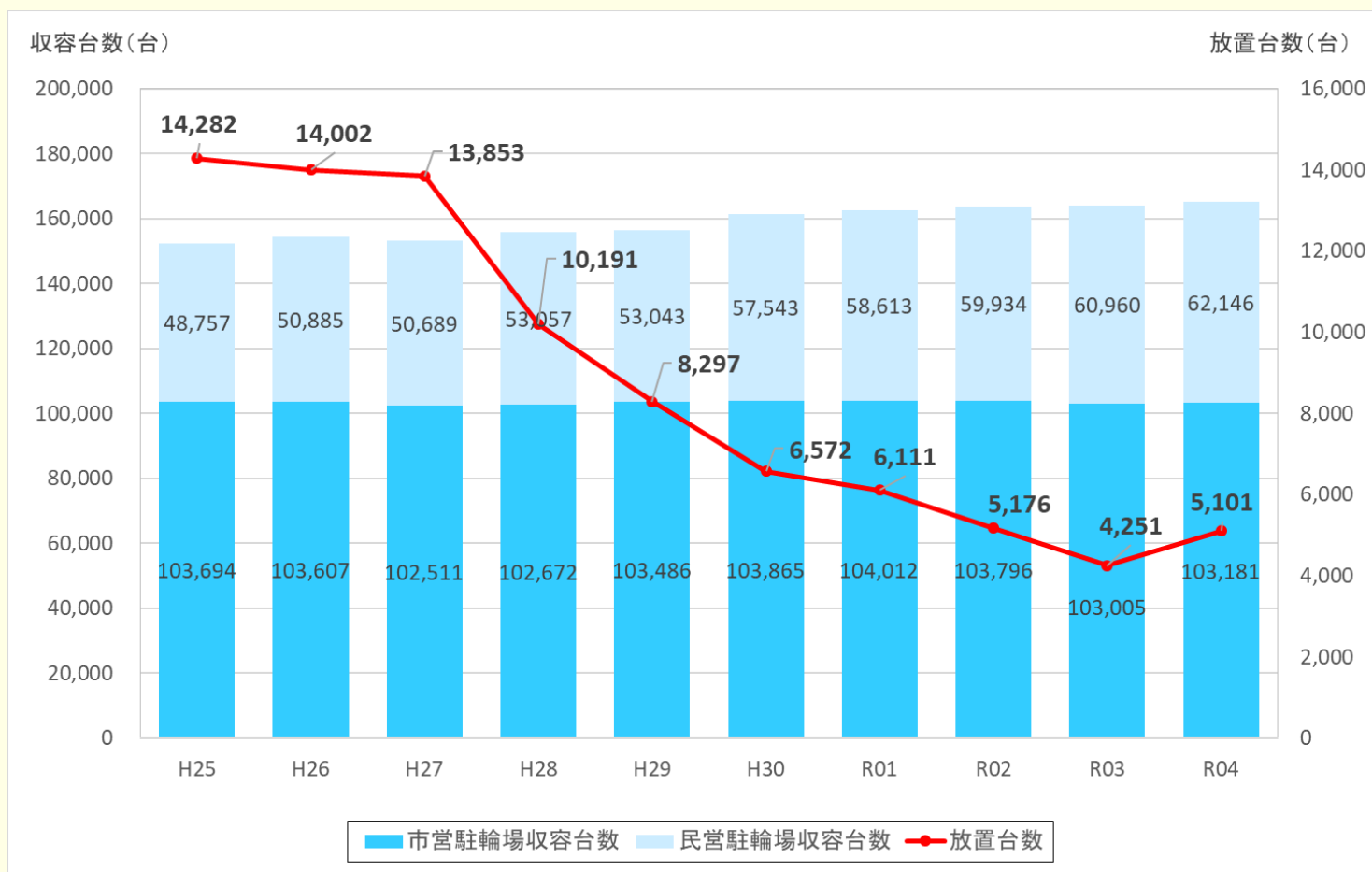
方針  
3

まちに適した  
駐輪対策を進める

地域、民間、行政の連携による駐輪対策の実施

## 放置自転車台数の推移

- 駐輪場の収容台数は約165,000台程度で推移
- 放置自転車台数はR4年度は、前年度と比較して約1,000台増加



※市営駐輪場は無料駐輪場含む

## 駐輪場の附置義務制度の運用状況

- **駐輪場の附置**を義務付ける条例の義務規定を適用した運用を令和元年度から開始
- 該当する施設の新築・増築の機会を捉えて、附置義務による駐輪場の整備を促進

### 駐輪場附置義務条例 適合確認件数等（令和4年4月～令和5年1月末）

	件数	附置台数	設置台数
集客施設	26 件	1,376 台	2,217 台
共同住宅等	288 件	7,205 台	9,320 台
複合施設※	5 件	380 台	488 台
<b>合計</b>	<b>319 件</b>	<b>8,961 台</b>	<b>12,025 台</b>

指標の1つとして、目標を設定

※ 1つの施設内に集客施設と共同住宅等が両方含まれるもの



## 駅前再開発等の機会を捉えた駐輪場整備

- 泉区弥生台駅北口自転車駐車場における、公共的自転車駐車場の再整備等を条件とした定期借地権設定契約での土地貸付の事業者公募について、相鉄不動産株式会社と契約（令和4年3月）
- 令和5年1月に民設民営自転車駐車場としてリニューアルオープンしました。

事業者	相鉄不動産株式会社
提案内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共的自転車駐車場（自転車：130台、バイク130台、シェアサイクル5台）</li> <li>・ 地上6階の共同住宅（賃貸：52戸）</li> <li>・ 地域貢献施設（110㎡）</li> </ul>
契約形態	一般定期借地（50年）
貸付価格	630,126円/月
今後の流れ	令和6年2月建物のしゅん工（予定）

対象敷地



従前の市営弥生台駅北口自転車駐車場



リニューアルオープン後の自転車駐車場

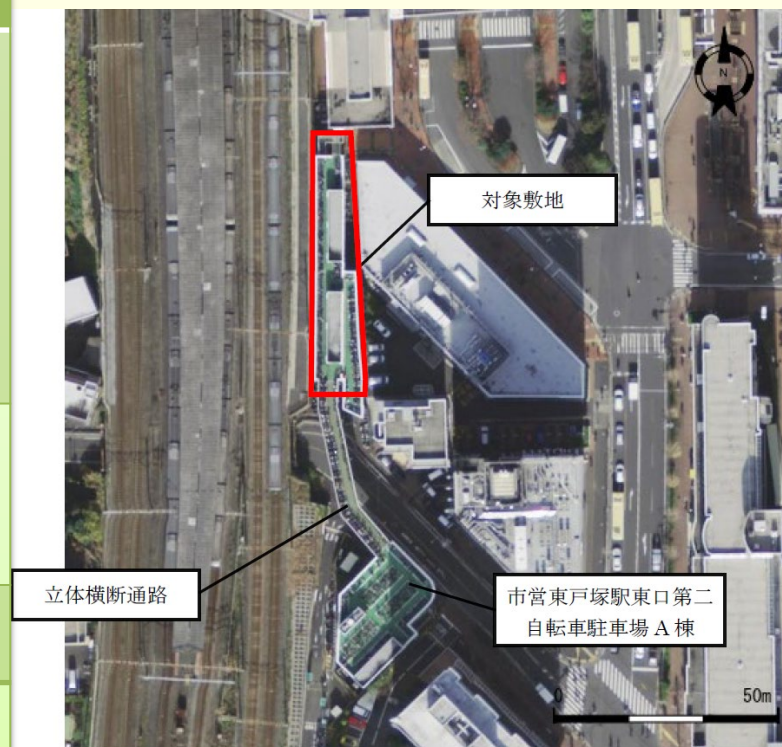


## 東戸塚駅東口第二自転車駐車場の再整備の検討

- 東戸塚駅東口第二自転車駐車場B棟は、施設の老朽化に伴い、令和3年8月に閉鎖しており、今後の建替え再整備に係る検討として、民間事業者等の皆様との対話「サウンディング型市場調査」を令和4年7月末に実施し、令和5年3月末には2回目の対話を実施します。

### サウンディング型市場調査2回目実施内容

対話時の 主な条件	<p>&lt;必須用途&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民設民営方式での公共用自転車駐車場</li> <li>自転車：200台以上</li> <li>バイク（125cc以下）100台以上</li> </ul> <p>&lt;事業方式&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業用定期借地権設定契約</li> <li>貸付期間20年</li> </ul>
既存施設の 概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地面積：約600㎡</li> <li>・ 鉄骨造3階建（杭基礎）</li> <li>・ 床面積955.26㎡</li> </ul>
対話期間	令和5年3月27日～3月31日
前回対話の 主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業系用途を想定</li> <li>・ 20～30年程度の借地期間がよい</li> <li>・ 隣地擁壁との関係など詳細検討が必要</li> <li>・ 敷地図面等の詳細資料の提供を要望</li> </ul>



※図中赤線は正確な敷地境界位置を示すものではありません。



## 駐輪需要に応じた駐輪場整備

- 瀬谷駅周辺において、駐輪環境の更なる充実と、通勤・通学等のための公共用自転車駐車場の安定的確保に向けて、道路空間の未利用地を活用し、市営自転車駐車場を4箇所整備しました

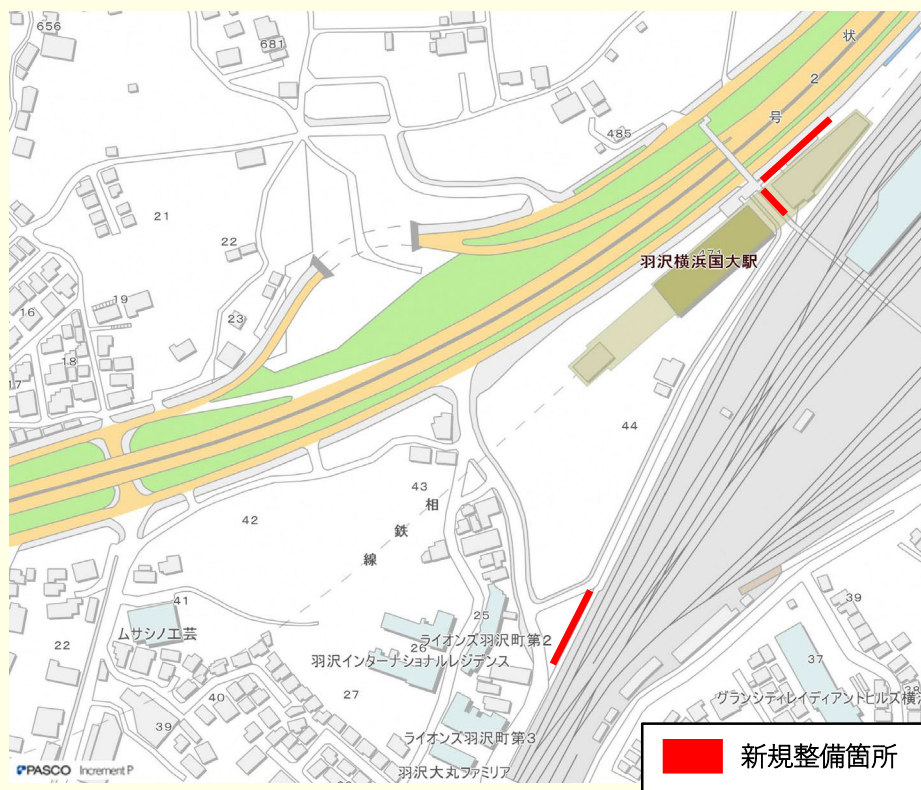


瀬谷駅南口自転車駐車場

整備した市営自転車駐車場の内訳（合計）  
自転車定期 110台、自転車一時 73台

## 駐輪需要に応じた駐輪場整備

- 羽沢横浜国大駅において、通勤・通学等のための公共用自転車駐車場の安定的確保に向けて、市営自転車駐車を2箇所整備しました



羽沢横浜国大駅自転車駐車場

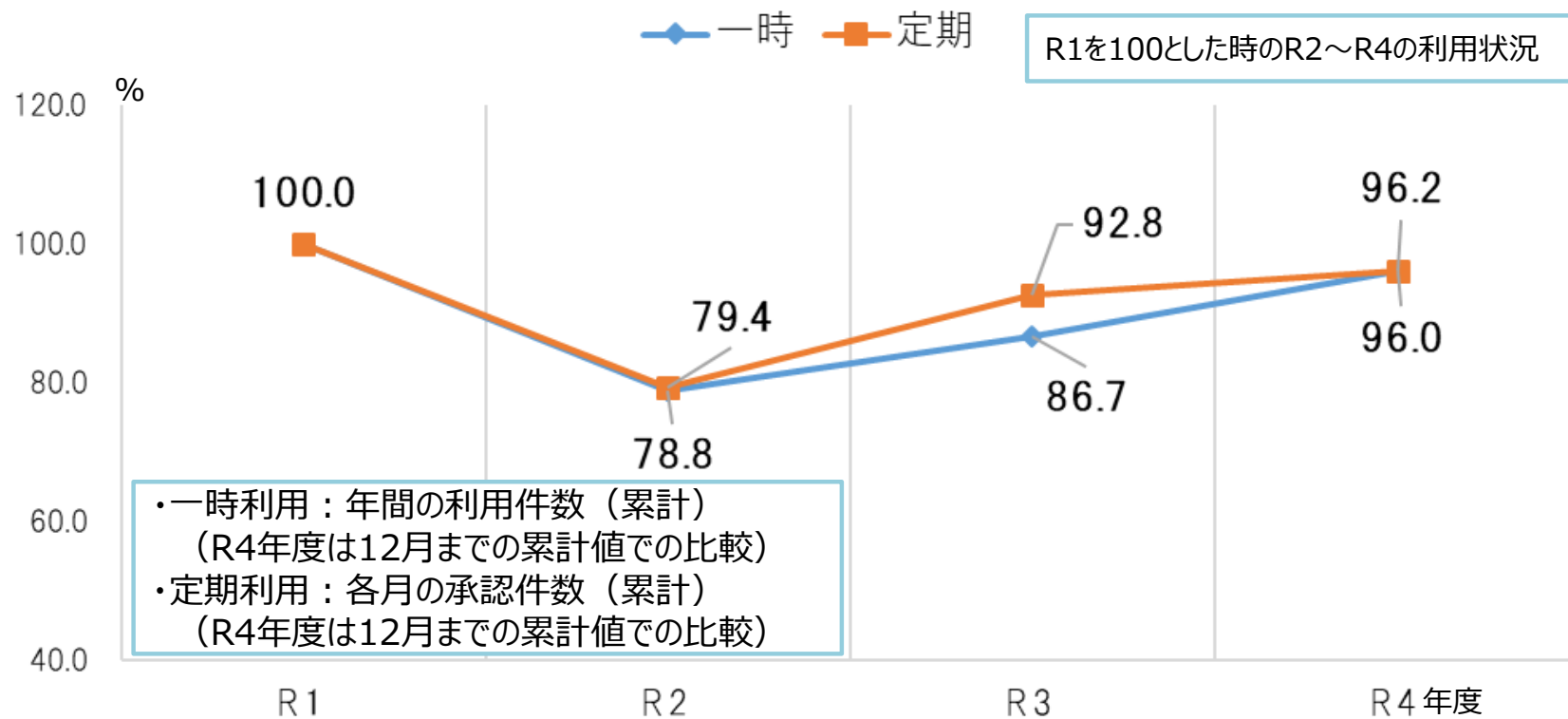
整備した市営自転車駐車場の内訳（合計）  
自転車一時 130台、バイク一時 53台



## 【参考】市営自転車駐車場の利用状況

- 市営自転車駐車場は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少
- R4年度は、一時利用・定期利用ともに前年（R3）と比較し増加傾向にある

### 市営自転車駐車場の利用状況（自転車）



## ■方針

## ■具体の取組

### 方針 1

健康的な  
「ライフスタイル」  
にいかす

(1) 自転車を活かした健康づくりの支援

(2) サイクルスポーツへの興味を高める取組推進

### 方針 2

横浜らしい  
「まちづくり」  
にいかす

(1) 観光や賑わいのあるまちづくりでの自転車活用の推進

(2) まちづくりと連携した自転車活用の推進

# サイクルスタンプラリー 開催概要

自転車の活用を推進し賑わいの創出を図るため、横浜、横須賀をめぐるサイクルスタンプラリー（デジタルスタンプ）を開催。

開催期間：2022年10月6日（木）～12月15日（木）

主催：横浜市道路局、横須賀集客促進実行委員会

スタンプ設置箇所：横浜市内 5箇所、横須賀市内 5箇所

応募要領：スタンプ押印数に応じて抽選にて賞品を進呈。（参加賞・抽選賞）

スマホ・タブレット端末等を利用したデジタルスタンプを採用。

登録者数：1,591人

参加者数：1,008人（うちアンケート回答者数：577人）



# サイクルスタンプラリー

# 開催概要

**スタンプポイント（全10か所）**  
ひつじのショーンの故郷、イギリスにゆかりのある施設を選定

## スタンプポイント & 参加賞引換場所



**参加賞引換場所**

**桜木町駅観光案内所**  
(JR桜木町駅南改札正面)  
観光施設や宿泊施設のご案内、イベントなどの情報提供、各種マップ・パンフレット類をご用意して、観光客のみなさまをサポートをしています。  
横浜市中区桜木町1-1  
営業時間：10:00～17:00  
※感染症拡大防止のため変更になる場合があります。  
<https://www.welcome.city.yokohama.jp/tic/>

**三笠公園管理事務所**  
案内所の機能だけでなく、売店などもあり、サイクルスタンドや横に小休止のためのスペースがあります。  
横浜市中区桜木町82  
営業時間：9:30～17:00  
※三笠公園の開園時間と営業時間は異なりますのでご注意ください。



**スタンプポイント**  
※スタンプをもらう際は、必ずこのスタンプポイントに到着し、スタンプをもらうことができます。スタンプをもらう際は、必ずこのスタンプポイントに到着し、スタンプをもらうことができます。

- 1 妙湖山 浄瀧寺
- 2 本牧山 妙香寺
- 3 馬の博物館
- 4 横浜市電保存館
- 5 横浜市長浜ホール
- 6 浄土寺
- 7 三笠公園
- 8 浦賀の渡し船
- 9 くりはま花の国
- 10 関口牧場

**安全利用、とめ方**

- ①公園内・施設内では自転車を降りて、押し歩きましょう！(各公園のルールに従ってください)
- ②自転車は、各スタンプラリーポイントの駐輪スペースにとめましょう！

**ポンボネ船の慶典で賑わえる浦賀の渡し船**  
3分程の船旅ですが、自転車と一緒に浦賀湾を渡るができます！自転車と船旅をしてみてください！

横浜	
妙湖山 浄瀧寺	(神奈川区)
本牧山 妙香寺	(中区)
馬の博物館	(中区)
横浜市電保存館	(磯子区)
横浜市長浜ホール (旧細菌検査室)	(金沢区)
横須賀	
浄土寺	
三笠公園	
浦賀の渡し船	
くりはま花の国	
関口牧場	



## アンケート結果 本イベントに参加しての感想

## 【良かったことなど】

- とても楽しかった。来年もぜひ実施して欲しい。
- 横浜市民でも知らない場所がスタンプポイントになっていて、新しい発見があり、とても良い。グルメポイントなど増やして地域に還元するものがあったらいいと思う。
- このイベントを通して、自転車の魅力がより一層広まればと願う。
- しばらく乗っていなかった自転車に改めて乗るきっかけを与えてもらった。これを機にまた自転車の趣味を再開します。

## 【不便に感じたことなど】

- 交通量の少ない道路のコースにしてほしい。
- もう少し飽きさせないコース設定がよい。アップダウンが多く、距離も長いので、特定の箇所では3スタンプ分のボーナスポイント付与などあったらいい。
- 午前10時に開場する施設があり、オープン前にスタンプを取得できないスタンプポイントが含まれていたのが残念でした。

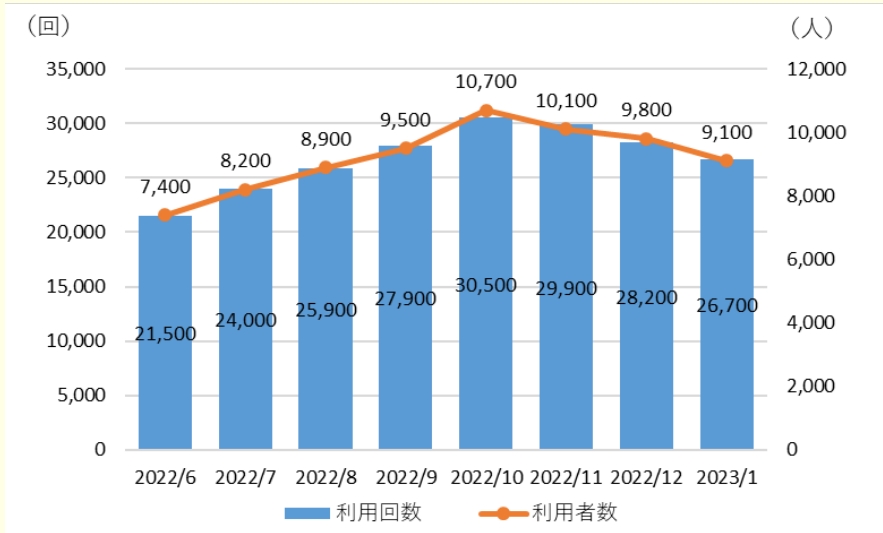
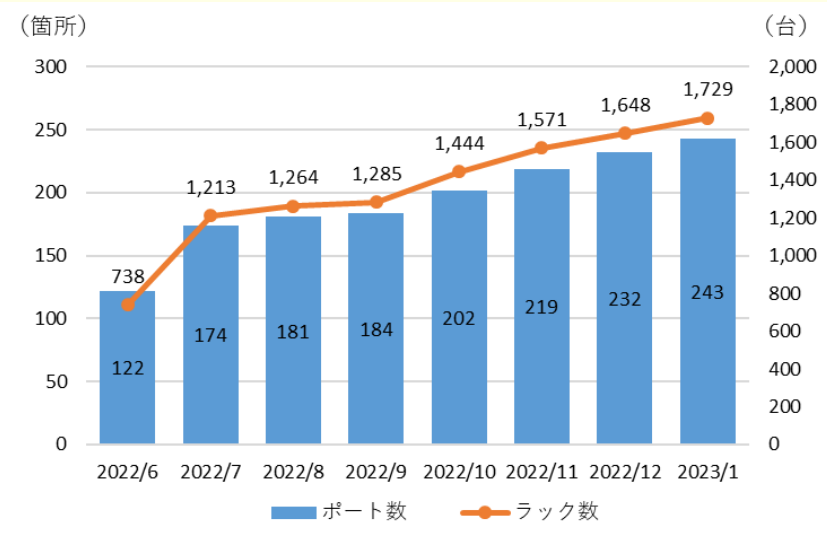
**今回の結果を踏まえ、次年度に向けて新たな自転車関連イベントについて検討中**

# 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

## ● 事業の進捗状況（全域）

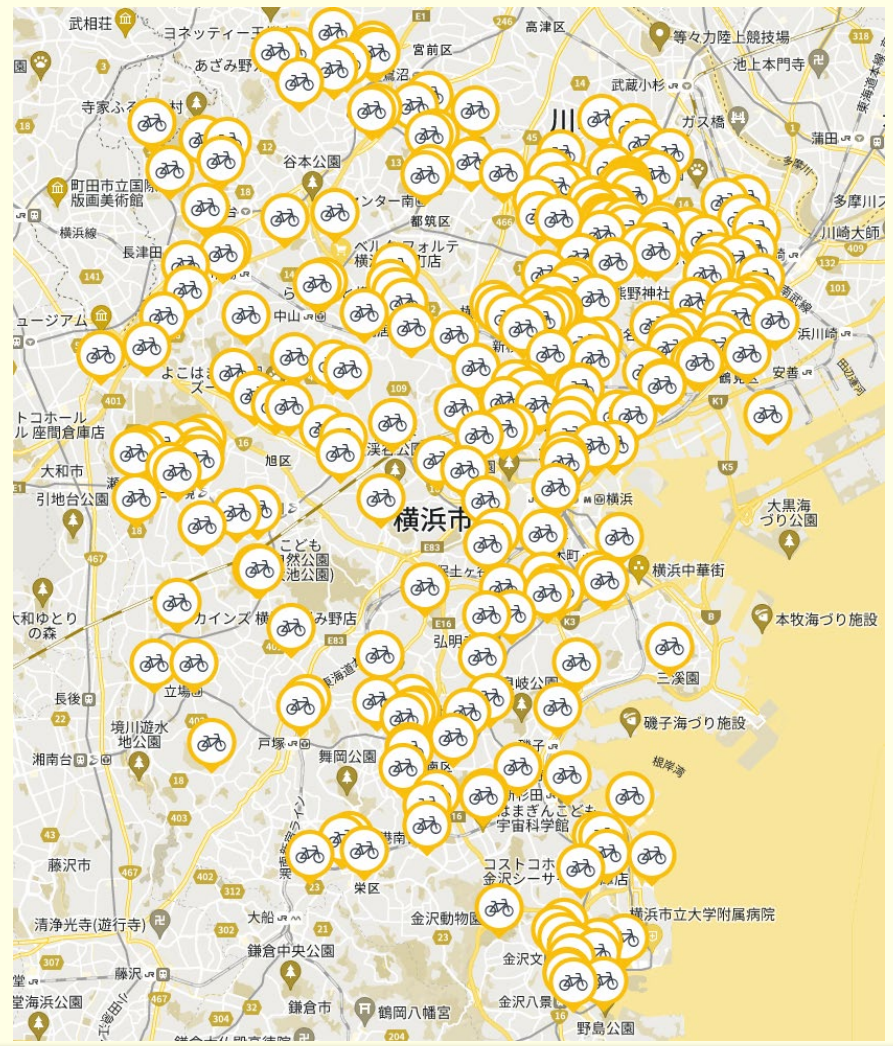
	ポート数	ラック数	利用回数/月	利用者数/月 (アクティブ)
R4.6	122箇所	738台	21,500回	7,400人
R5.1	243箇所	1,729台	※30,500回	※10,700人

※実施期間中最大値



# 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

## ● 事業の進捗状況（全域）





# 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

## ● 事業の進捗状況（中部区域）



**S-004. 瀬谷駅北口第五駐輪場（A区画）**

営業時間 24h

駐輪台数制限あり

住所  
神奈川県横浜市瀬谷区本郷3丁目12地先

貸出可能数	返却可能数
0	10

**S-001. 瀬谷駅北口駐輪場**

営業時間 24h

駐輪台数制限あり

住所  
神奈川県横浜市瀬谷区中央4-6

貸出可能数	返却可能数
2	8

**S-005. 瀬谷区役所**

営業時間 24h

駐輪台数制限あり

住所  
神奈川県横浜市瀬谷区二ツ橋町190-1

貸出可能数	返却可能数
3	3

**A-003. 三ツ境駅北口第三駐輪場**

営業時間 24h

駐輪台数制限あり

住所  
神奈川県横浜市旭区東希望が丘241-1

貸出可能数	返却可能数
0	不可



# 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

## ● 事業の進捗状況（北部区域）

郊外部のまちづくりの一環で  
東急と連携し、東急ストアなどの  
敷地内にサイクルポートを展開  
すすき野団地とたまプラーザ駅  
との動線を創出



すすき野とうきゅう店

貸出可能 2    駐輪可能 4    返却予約 0



たまプラーザテラス G2駐輪場

貸出可能 3    駐輪可能 3    返却予約 0

# 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

## ● 事業の進捗状況（南部区域）

八景島やプールなどの海側のレジャー施設に順次ポートを設置し、金沢八景駅や金沢文庫駅との周遊動線を創出



金沢八景駅第四自転車駐車場

貸出可能	0	駐輪可能	10	返却予約	0
------	---	------	----	------	---



金沢プール

貸出可能	3	駐輪可能	2	返却予約	0
------	---	------	---	------	---



八景島駅駐輪場

貸出可能	4	駐輪可能	4	返却予約	0
------	---	------	---	------	---



# 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験の取組状況

● 社会実験の広報チラシを作成したほか、令和5年2月11日には青葉区で開催されたゼロカーボンフェスタにてポスターを展示するなど、様々な方法で、シェアサイクルを知っていただき、利用促進につなげていきます。

広報チラシ (R4.10作成)

横浜市 広域シェアサイクル事業 社会実験

いつでも、きがるに  
**『シェアサイクル』で行こう!**

みんなの区域に、展開開始!

ちよとそこまで。出先の移動。すぐに便利な自転車。あなたの行動範囲を広くします。「シェアサイクル」というサービスは、市内各所にポートで電動アシスト自転車を借りて、返却は各サービスごとのポートであればどのポートでもOK! 駅から離れた場所や、車を使わない移動の場合、とても便利なサービスです。横浜市広域で事業を展開しています。

ゼロカーボンフェスタでのポスター展示 (R5.2.11 青葉区にて開催)

### 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験

横浜市では、様々な方が利用することができる広域シェアサイクル事業の社会実験を始めました。

<社会実験の概要>

**事業目的**

- ①公共交通の機能拡充として日常生活の移動手段の確保と移動の選択性を高めよう
- ②市内の移動回数の増加により、地域の活性化に貢献
- ③マイカー移動からの転換により、脱炭素社会の形成を推進
- ④交通ルール等の異なる周辺府県
- ⑤公道混雑による事業採算性の向上

**実施期間**  
2022年6月10日から2025年3月31日まで

**役割分担**

横浜市	【協賛事業者】
・社会実験全体の統括 ・公有地サイクルポート ・用地の調整・確保 など	・サイクルポート等の 施設整備、維持管理 ・事業の運営全般 など

**実施体制**

中部区域	北部・青葉区域
dicomo bike share	HELLO CYCLE
株式会社 ドコモ・パートナーズ	OpenStreet株式会社 株式会社 アールエス・エス 株式会社 エス・エス・エス

**利用料金**

	【自転車】	【電動アシスト自転車】
1回利用	最初30分：150円/回 延長：155円/30分	最初30分：130円/回 延長：100円/15分
月間会員	2,200円/月	1,800円/12ヶ月
一日パス	1,527円/1日分	—

**<中部区域おすすめサイクルポート>**  
～交通不便地域へのラストワンマイル～

- 緑ヶ丘公園
- 上瀬田地区センター
- 三ツ沢上町駅前輪船
- みなとみらいセンター

**<北部区域おすすめサイクルポート>**  
～日常生活の多様な利用～

- 磯子駅前
- 磯子公園
- 磯子駅前
- 磯子公園

**<南部区域おすすめサイクルポート>**  
～観光・マイカツールズムとしての利用～

- 磯子公園
- 磯子公園
- 磯子公園
- 磯子公園

**<施策経緯>**

**<利用実績>**

**<利用促進>**

そのほか、泉区で開催された深谷通信所跡地中央広場活用イベント (R4.11.12) などに出展するなど広報活動を行っています。

## 横浜都心部区域baybikeの取組状況

### ■アジェンダ

1

背景とこれまでの検討

2

市場型サウンディング調査

3

横浜都心部におけるシェアサイクルの将来像

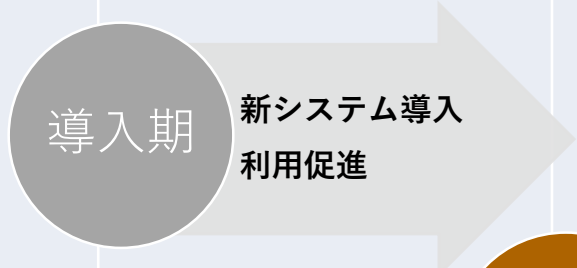
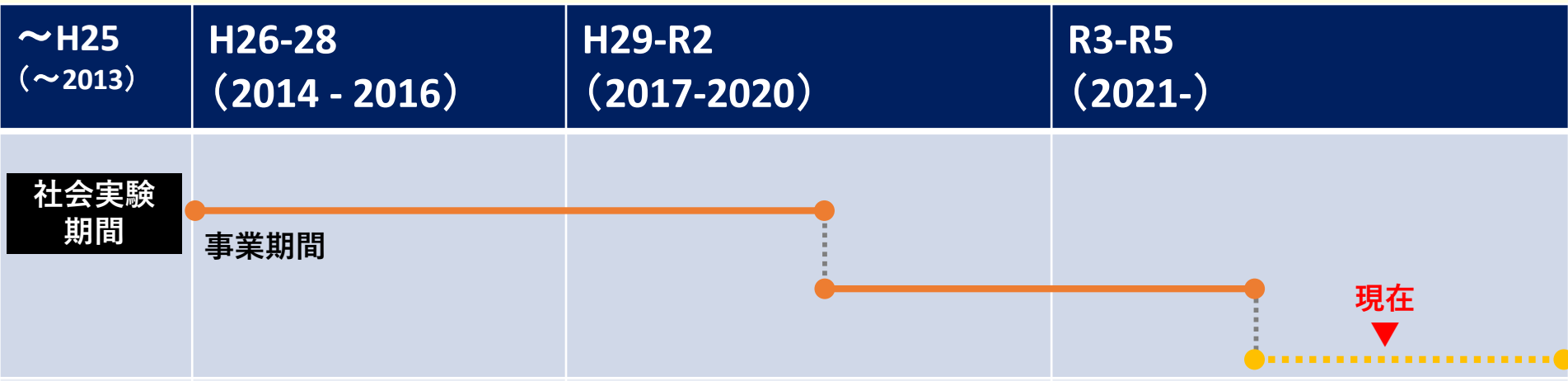
4

今後の展開



# 横浜都心部区域baybikeの取組状況

## 1 背景とこれまでの検討



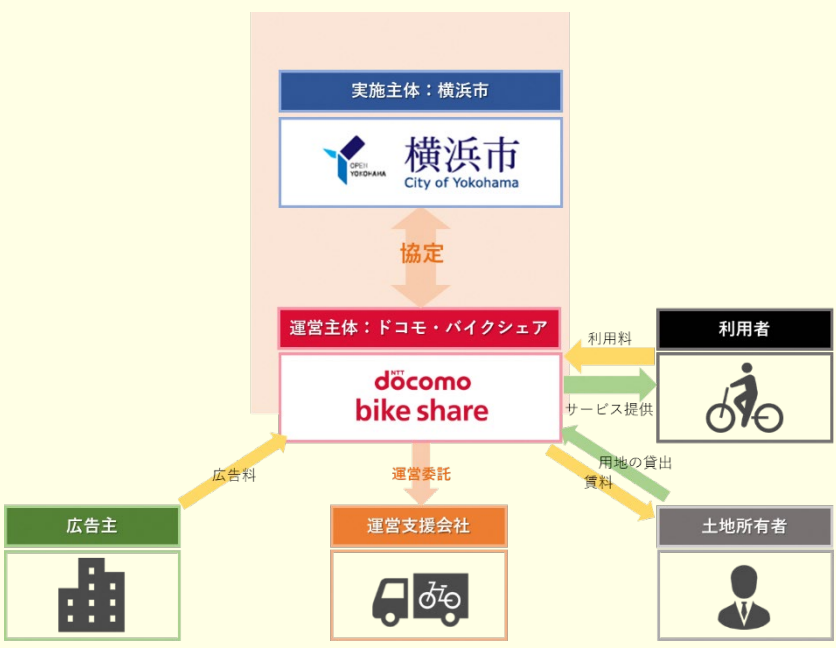
# 横浜都心部区域baybikeの取組状況

## 1 背景とこれまでの検討

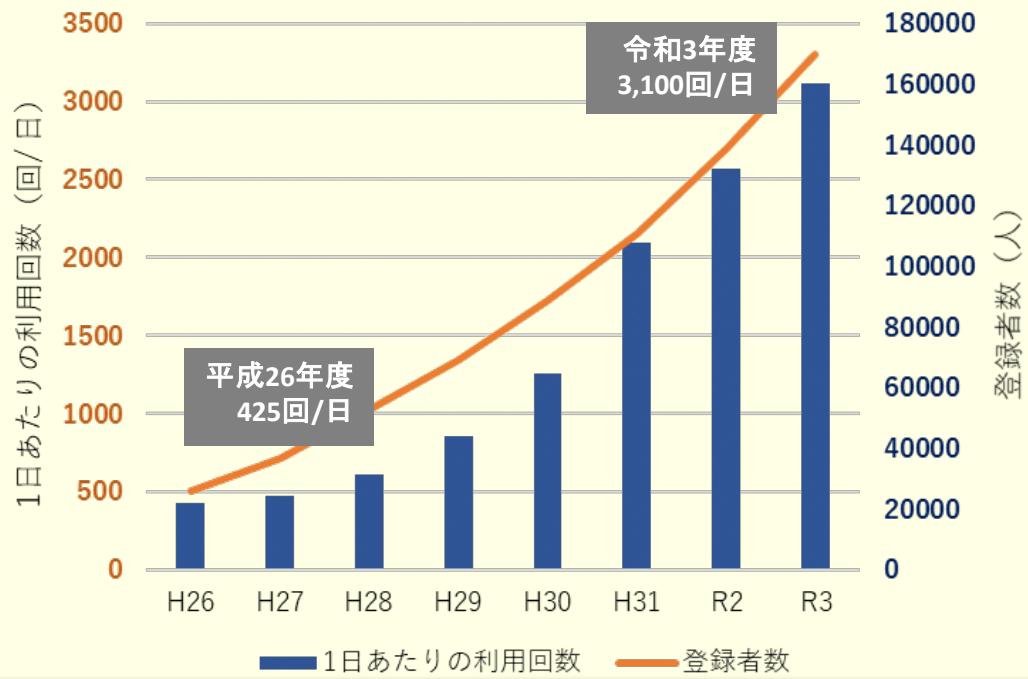
### ■事業の概要

- **期間**：平成26年4月1日～令和6年3月31日
- **規模**：自転車900台、サイクルポート113箇所（令和5年1月末時点）
- **体制**：実施主体）横浜市都市整備局 運営主体）株式会社ドコモ・バイクシェア

### 運営体制



### 利用の推移



# 横浜都心部区域baybikeの取組状況

## 1 背景とこれまでの検討

### ■ 事業の成果とこれからのテーマ設定



(令和4年8月に策定・公表)

横浜都心部シェアサイクルの**将来像**＝

「(仮称)横浜都心部シェアサイクル事業実施方針(素案)」

3つの視点(コンセプト) **新たなスキームの導入**

## 横浜都心部区域baybikeの取組状況

### 2 市場型サウンディング調査

#### ■ サウンディング調査の概要

- **期間**：令和4年10月24日（月）～令和4年10月28日（金）
- **対話**：ディスカッション形式（1グループ1時間程度）
- **対象**：6年度以降の事業に対して参画の意向を有する又は興味のある法人等

#### ■ サウンディング調査のねらい



- 市場型サウンディング調査のねらい
  - ・ 民間ノウハウや良質なアイデアの取り込み
  - ・ 新たな事業展開に向け、参画機運の熟成



# 横浜都心部区域baybikeの取組状況

## 2 市場型サウンディング調査

### ■ サウンディング調査の結果

#### (1) 参加者

種別	説明	参加※
対象1	シェアサイクルの運営事業者 等	3者
対象2	共同で事業提案の可能性がある法人 等	4者
対象3	事業に対し、協力・連携の可能性がある法人 等	5者

※企業、学校法人、非営利団体など多様な申込があり、複数の法人で構成された団体からの申込もあった

#### (2) 調査から得られたこと

- ✓ 現時点において、シェアサイクル事業者を含む**多様な主体の事業参画意向を確認**
- ✓ 「まちづくりとの連動」など新たな事業の方向性について、共感いただいた
- ✓ コンソーシアムによる運営主体の構成は、新たな取組であることから、**事業提案に向けて、どのように進めればよいかなど戸惑いの声**もいただいた。

【1月31日公表】

市場型サウンディング調査の結果

(URL) <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/>

[kotsu/toshikotsu/community\\_cycle/default20220808.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kotsu/toshikotsu/community_cycle/default20220808.html)



# 横浜都心部区域baybikeの取組状況

## 3 横浜都心部におけるシェアサイクルの将来像

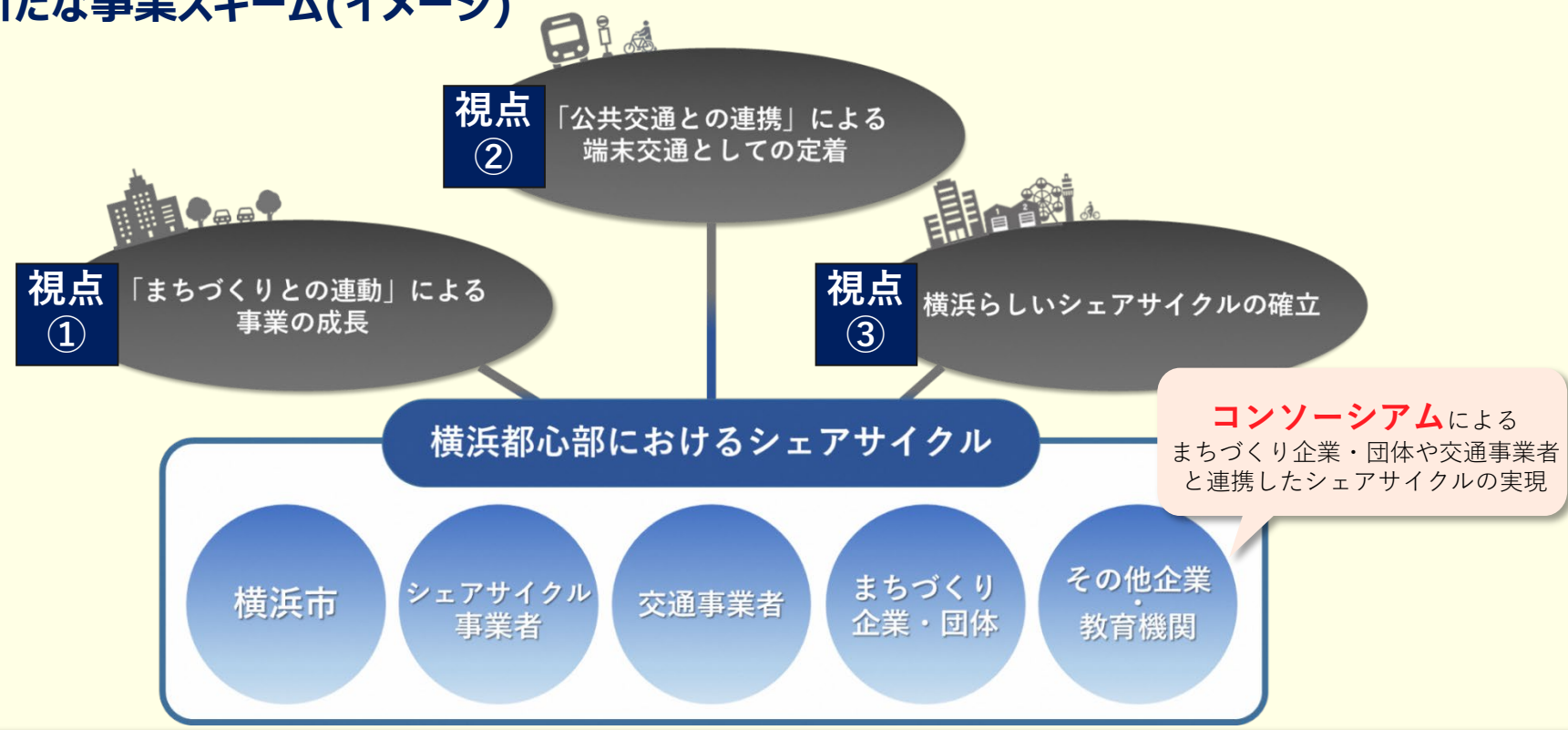
【1月31日公表】

### 横浜都心部シェアサイクル事業の基本的な考え方

(URL) [https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/toshikotsu/community\\_cycle/default20230131.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/toshikotsu/community_cycle/default20230131.html)



### ■ 新たな事業スキーム(イメージ)



# いかす

## 横浜都心部区域baybikeの取組状況

### 3 横浜都心部におけるシェアサイクルの将来像

#### ■ 3つの視点

#### 視点1

「まちづくりとの連動」  
による事業の成長

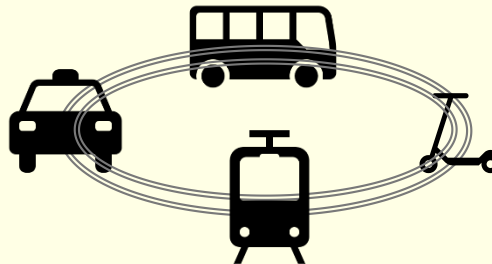
- ✓ ・ポート配置重点地区（コアゾーン）の設定により、**戦略的にポートを開拓**
- ✓ ・シェアサイクルの利用データと様々なデータの相互分析  
→まちづくりを進める企業や市民等と連動し、街と共に成長することを目指す。



#### 視点2

「他の交通モードとの連携」  
による端末交通としての定着

- ✓ 充実した公共交通、多様な観光交通手段等と連携
- ✓ MaaSやデータ活用などをキーワードとして  
→さまざまな取組を通じ、共存、相互利用の促進を目指す。



#### 視点3

横浜らしい  
シェアサイクルの確立

- ✓ デザイン性、機能性の充実
- ✓ **横浜都心の魅力ある資源を活かした施策展開**
- ✓ **データ活用、オープンイノベーションの取組とも連携し、利用促進・付加価値の創出**  
→ヨコハマらしい象徴的な交通手段として定着を目指す。



※茶文字：サウンディング調査結果等により、更新した部分

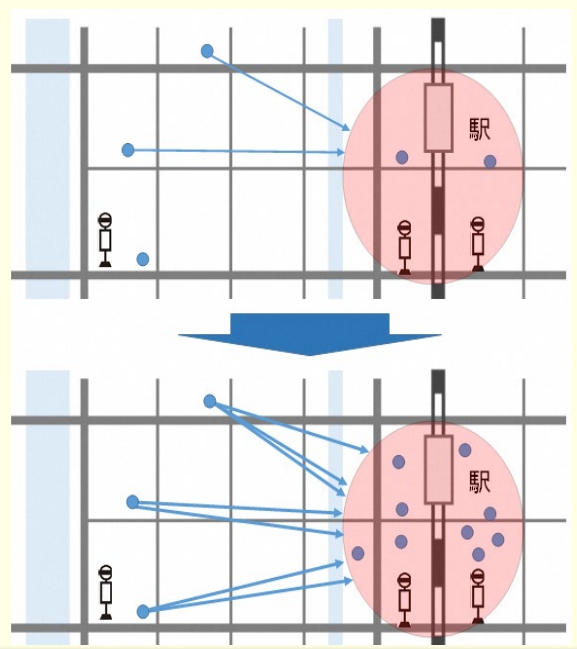
# 横浜都心部区域baybikeの取組状況

## 3 横浜都心部におけるシェアサイクルの将来像

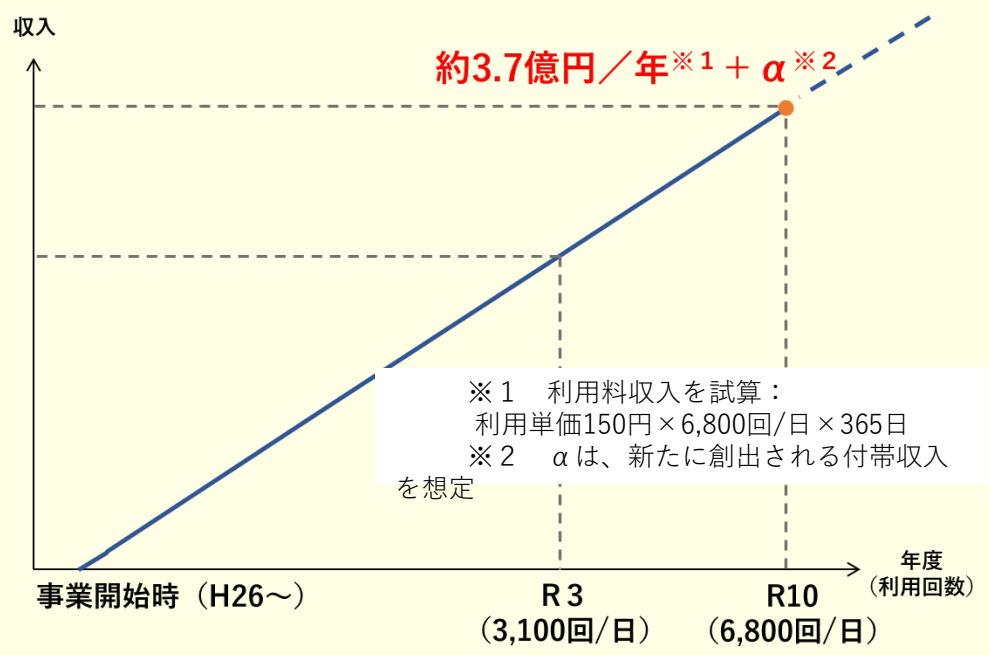
### ■5年後の将来イメージを提示

- 展開エリア：横浜都心部（市内5区に跨る地域）約30km<sup>2</sup>
- 事業規模：自転車1700台、サイクルポート210箇所
- 目標回数：5年後に1日あたり6,800回/日 ※現在の規模の2倍程度
- 事業期間：10年 ※一定期間ごとに事業目標の達成状況を確認しながら事業を推進

### ポート配置計画（コアゾーン）



### 事業目標（規模）





## 横浜都心部区域baybikeの取組状況

### 3 横浜都心部におけるシェアサイクルの将来像

#### ■新たな事業スキーム(イメージ)

#### ①協働

市と事業者が協力  
目標達成を目指す

#### ②市の役割

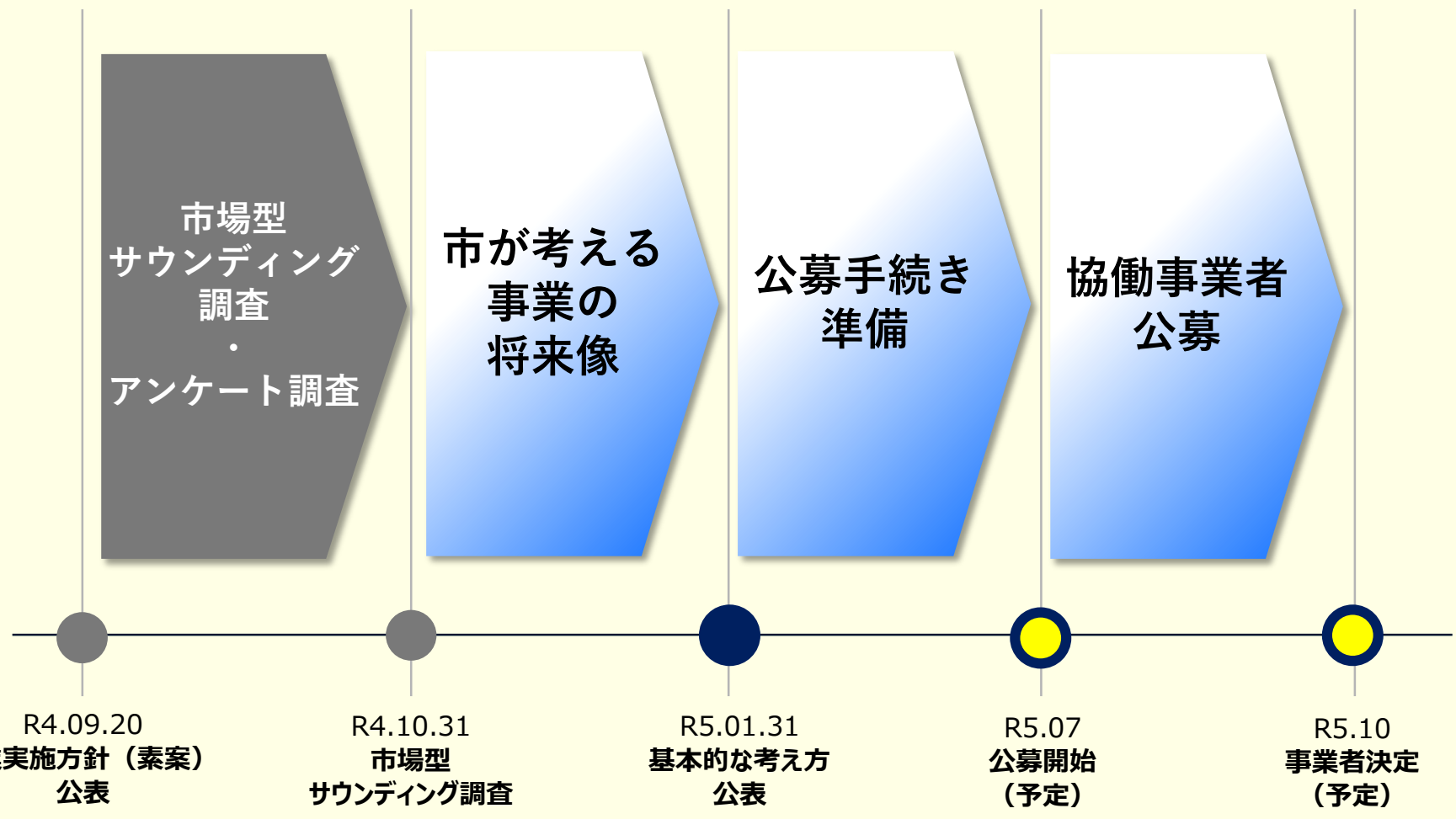
総合的な調整  
+  
市費に頼らない  
支援の導入

#### ③コンソーシアムの 推奨

まちづくりに精通  
した事業者の参画  
に期待

# 横浜都心部区域baybikeの取組状況

## 4 今後の展開



※現時点の予定のため、変更可能性あり

## 3

# 指標の見直し及び達成 状況について（8指標）

本計画では計画推進の目安として、指標を設定しています。  
今回、次期中期4か年計画の策定にあわせて、指標を見直します。

自転車活用推進計画の指標					実現に関連するテーマ			
指標名	2025年度 (目標値)(案)	2022年度	2021年度	2021年度 までの目標値	ま も る	は し る	と め る	い か す
自転車関係 交通事故件数	1,600件以下	1,734件	1,741件	1,800件以下	○	○		
自転車通行ルールの 認知度(遵守度)	知っている 90% (行っている 80.0%)	知っている 85.8% (行っている 73.2%)	知っている 88.8% (行っている 76.1%)	75%	○			
自転車保険の 加入率	85%	77.7%	68.4%	85%	○			
自転車通行空間の 整備延長	103km (累計)	89km (累計)	86km (累計)	43km (累計)		○		



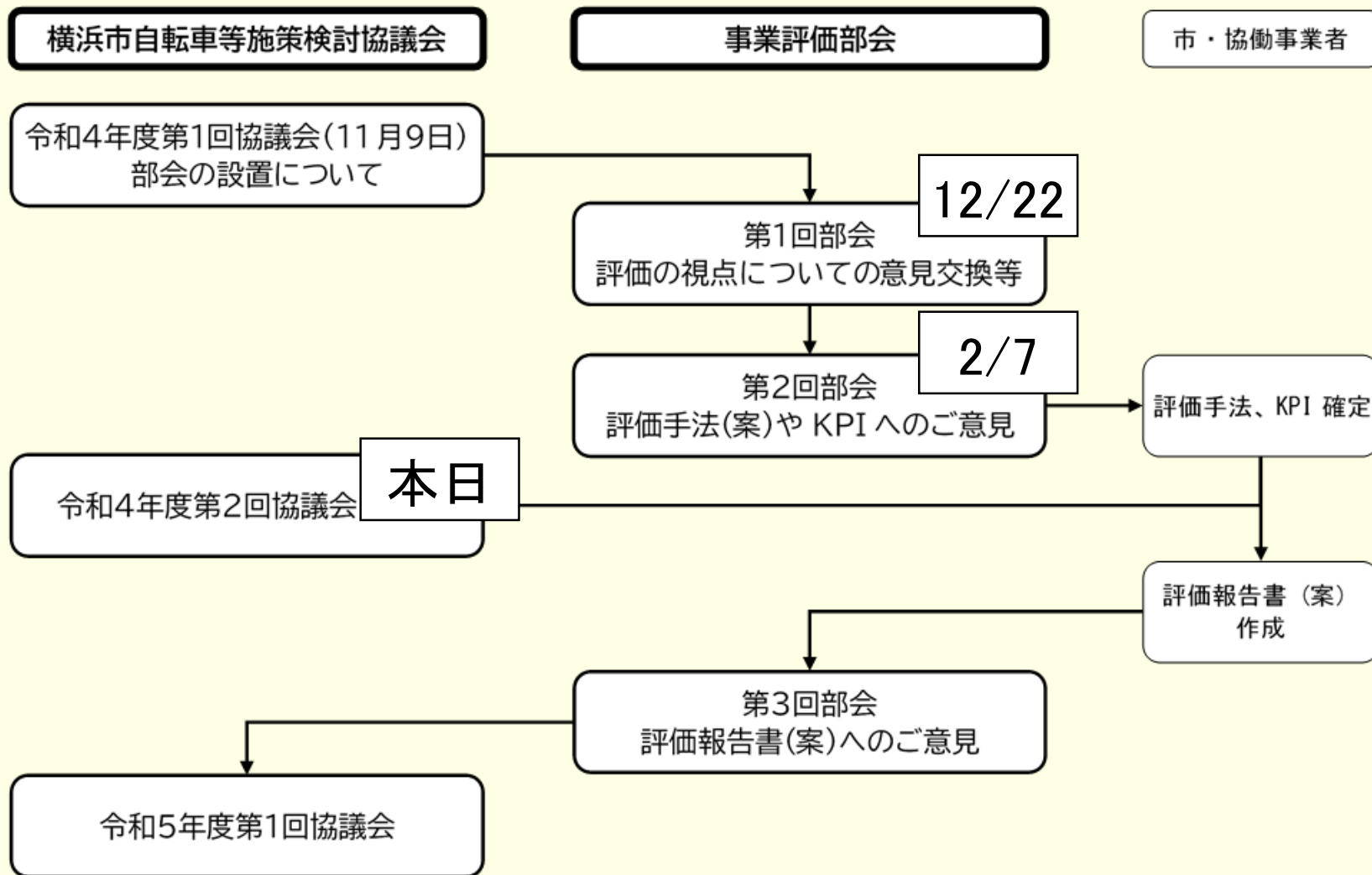
自転車活用推進計画の指標					実現に関連するテーマ			
指標名	2025年度 (目標値)(案)	2022年度	2021年度	2021年度 までの目標値	まもる	はしる	とめる	いかす
放置自転車台数	4,000台未満	5,101台	4,251台	6,600台未満			○	
附置義務条例による 集客施設の駐輪場 収容台数の増加	7,200台 (累計)	5,977台 (累計)	3,760台 (累計)	7,200台			○	
自転車関連イベント (「いかす」施策)の 開催件数 (市が関係するもの)	10件 (2022年度～ 2025年度累計)	2件	8件 (2019年度～ 2021年度累計)	10件 (2019年度～2021年度 累計)				○
自転車利用環境の 満足度※	23.1% (まもる)	23.1% (まもる)	17.2% (まもる)	22.0% (まもる)	○	○	○	○
	22.1% (はしる)	19.8% (はしる)	19.0% (はしる)	22.1% (はしる)				
	36.0% (とめる)	23.4% (とめる)	24.8% (とめる)	36.0% (とめる)				
	28.9% (いかす)	28.9% (いかす)	27.6% (いかす)	26.0% (いかす)				

※指標設定時(2019年度)からの実績の最高値より向上

## 4

横浜市広域シェアサイクル  
事業社会実験事業評価部会の  
開催状況について

## 部会の状況について



事業評価の時期について

▶事業実施前評価(公募段階)

事業実施(第1期)

▶事業期間中評価(第1期)

事業実施(第2期)

▶事業期間中評価(第2期=中間評価)

事業実施(第3期)

▶事業期間中評価(第3期)

▶事業実施後評価(社会実験終了後)

協議会から  
ご意見を  
いただき  
評価部分



## 事業評価手法の構成について

